



駿府での代官行列～平成8年4月6日、7日、飯島町の「代官行列を楽しむ会」は、「静岡まつり」のメイン「大御所花見行列」に加わり、市内を練り歩いた。

代官行列 駿府へ行く！

文化八年(一八一二)秋、ときの代官小野田三郎右衛門は、本拠としていた駿府紺屋町陣屋(静岡県静岡市)から飯島陣屋へ出張してきた。飯島での用務を済ませた代官が駿府への帰途につくとき、宿々には一通の「先触れ」が回された。この先触れには、「お代官様出立につき、馬二疋・人足十六人差し出すように」と記されてあった。この人馬が代官の駕籠や荷物を次の宿場まで運ぶのである。飯島宿では、この先触れを受けて近くの村々に馬や人足の負担を割りふったが、先触れどおりの人足では到底間に合わないため、十人割り増して人足を集めている。

平成五年、この古文書の記述をもとに「代官行列を楽しむ会」が結成された。これまで「お陣屋まつり」「お陣屋行灯市」「飯島陣屋復元事業竣工式」といった町内でのイベントや、「信州博覧会(松本市)」で史実に忠実な代官行列を披露してきたが、今回はついに、古文書の記載では終着点に当たる駿府での行列となった。

飯島陣屋ブックレット第二弾

高木俊輔 著

『伊那県時代』発刊！

明治維新で幕府が倒れ、新政府が誕生しました。それまで幕府の直轄領を治めていた飯島陣屋はこのとき廃止され、やがて新政府によって伊那県が設けられました。信濃国で初めて設置された県。伊那県は、飯島陣屋の跡に県庁を置き、明治元年から同四年まで信濃・三河国内に管轄地を持ちました。

本書は、時代が移り変わってゆくはざまの時期、たった四年間存在した伊那県について、わかりやすくまとめた冊子です。



- ★本書の構成
 - 一 幕末の代官陣屋
 - 二 伊那県の成立
 - 三 県政の展開と問題点
- ★体裁 A5判、三四ページ
- ★頒布価格 一部三〇〇円
- ★送料もできます(送料別)

「かみしも」を着てみよう
小学校高学年生用の袴一着を用意しました。ご希望により、袴を着て館内の見学ができます。

遠足で来館
伊那西高校二年生
五月二日、伊那西高校二年生二〇〇名が、恒例の遠足で、地域の歴史と文化にふれる目的で陣屋を訪れました。



キミもお代官様になれる!?

高札板

一催し

左の催しに大勢相集うべく候事

- お陣屋まつり 7/27(土)
代官行列をご覧になれます。
こわいこわいおはなしの会
8/10(日) 午後7時～8時
まっくらやみの陣屋でのお話読み聞かせ会。保護者同伴でどうぞ。主催：飯島町図書館 出演：飯島子ども本の会
- 飯島陣屋講演会「代官・陣屋・天領」 9/23(月) 午後2時～4時30分 講師：村上直(法政大学名誉教授)
- お茶会 10/13(日) 午前10時～午後3時 陣屋の書院でのお茶会です。お誘い合わせでご来場ください。
- 西沢淳男(法政大学講師) 入場は無料です。
なお、この日は通常の展示業務は行っておりません。
新町発足40周年記念・飯島町歴史民俗資料館特別展示 10/1(火) 陣屋館・飯島町の歴史と文化 飯島陣屋代官行列パネル展

一 休館日(平成8年)

○が休館日にて御座候

七月	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
八月	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
九月	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

お陣屋トピックス



お陣屋行灯市で どんどろ公演

第三回「お陣屋行灯市」の企画として二月一日夜、陣屋内で人形芝居「百鬼人形どんどろ」の特別公演が行われ、大盛況でした。

ろうそくをあかりで人形芝居
～120人の観衆が息をのんだ



陣屋本陣の前で記念撮影

お知らせ

陣屋の現在地と代官名

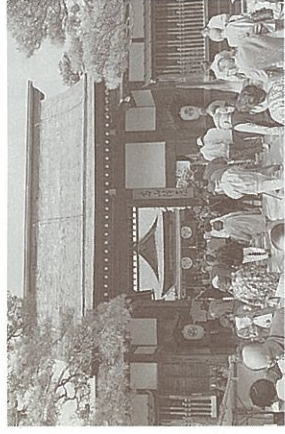
(宝暦7年=1757)

No.	陣屋名	現在地	代官名
1	◎出羽国尾花沢	山形県尾花沢市	辻六郎左衛門豊守
2	◎出羽国長瀬	山形県東根市	川田六郎左衛門貞英
3	◎出羽国大山	山形県鶴岡市	天野市十郎正純
4	○出羽国柴橋	山形県寒河江市	
5	◎出羽国漆山	山形県山形市	平岡彦兵衛良寛
6	○出羽国東根	山形県東根市	
7	◎陸奥国桑折	福島県伊達郡桑折町	小林孫四郎政用
8	◎陸奥国小名浜	福島県いわき市	風祭甚三郎国辰
9	○出羽国白岩	山形県寒河江市	
10	◎陸奥国高	福島県白川郡高町	渡辺半十郎廣
11	◎陸奥国田島	福島県南会津郡田島町	江川太郎左衛門英征
12	☆武蔵国赤山	埼玉県川口市	伊奈半左衛門忠宥
※	関		辻源五郎盛隆
東			横尾六右衛門昭平
代			吉田久左衛門佳国
官			前沢藤十郎光寛
			小田切新五郎光禄
			会田伊右衛門資敏
			高階伝次郎経道
			吉田源之助春達
			志村新左衛門師智
			久保田十左衛門政邦
			岩松直右衛門純睦
			万年七郎左衛門頼英
			青山市左衛門政陽
13	◎佐渡国相川	新潟県佐渡郡相川町	藤沼源左衛門時房
14	◎佐渡国相川	新潟県佐渡郡相川町	池田喜八郎季庸
15	◎越後国水原	新潟県北蒲原郡水原町	山中源四郎久忠
16	◎越後国石瀬	新潟県西蒲原郡岩室村	真野惣十郎勝照
17	◎越後国十日町	新潟県十日町市	千種清右衛門直豊
18	◎越後国川浦	新潟県中野郡三和村	久保平三郎勝峯
19	◎越後国新井	新潟県新井市	渡辺民部博
20	○信濃国富竹	長野県長野市	
21	◎信濃国中野	長野県中野市	天野助次郎正景
22	○信濃国坂木	長野県埴科郡坂城町	
23	◎信濃国御影	長野県小諸市	
24	◎信濃国飯島	長野県上伊那郡飯島町	布施弥市郎胤将
25	△信濃国上中関	長野県下伊那郡阿智村	
26	◎越前国下兵庫	福井県坂井郡坂井町	佐々新十郎長純
27	◎越前国東長田	福井県坂井郡坂井町	稲垣左衛門豊章
28	◎越前国本保	福井県武生市	竹垣庄藏直照
29	◎甲斐国川田	山梨県甲府市	岩佐郷藏茂矩
30	◎甲府長禅寺前	山梨県甲府市	鶴岡佐十郎美道
31	◎甲斐国上飯田	山梨県甲府市	町野惣右衛門寛満
32	◎甲斐国石和	山梨県東八代郡石和町	今井平三郎載肥
33	◎甲斐国谷村	山梨県都留市	山本平八郎親行
34	◎伊豆国三島	静岡県三島市	
35	◎駿府紺屋町	静岡県静岡市	宮村孫左衛門高豊

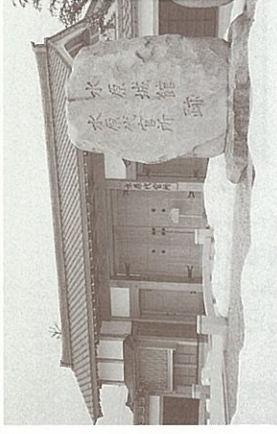
〔関東八か国に支配地を持つ関東代官は、現地に陣屋を持たず、自邸を役所とした。〕

No.	陣屋名	現在地	代官名
36	△遠江国新貝屋敷	静岡県磐田市	
37	△遠江国中泉	静岡県磐田市	岩出伊右衛門信之
38	◎駿河国島田	静岡県島田市	
39	◎三河国赤坂	愛知県宝飯郡音羽町	
40	◎飛騨国高山	岐阜県高山市	上倉彦左衛門信門
41	○美濃国下川辺	岐阜県加茂郡川辺町	
42	◎美濃国本田	岐阜県本巣郡穂積町	川崎平右衛門定孝
43	☆美濃国笠松	岐阜県羽島郡笠松町	青木次郎九郎安清
44	◎近江国信楽	滋賀県甲賀郡信楽町	多羅尾四郎右衛門光雄
45	◎近江国大津	滋賀県大津市	石原清左衛門正顕
46	◎京都二条河原	京都府京都市	角倉与市玄寿
47	◎京都二条	京都府京都市	小堀数馬邦直
48	◎大坂本町橋東浜	大阪府大阪市	内藤十右衛門忠尚
49	◎大坂鈴木町北側	大阪府大阪市	萩原藤七郎友明
50	◎丹後国久美浜	京都府熊野郡久美浜町	大野佐左衛門正識
51	◎但馬国生野	兵庫県朝生郡生野町	斎藤新八郎正成
52	◎美作国倉敷	岡山県英田郡美作町	飯塚伊兵衛英長
53	◎美作国久世	岡山県真庭郡久世町	藤本甚助久英
54	◎備中国倉敷	岡山県倉敷市	浅井作右衛門道尹

No.	陣屋名	現在地	代官名
55	◎備中国笠岡	岡山県笠岡市	
56	○美作国鹿田	岡山県真庭郡落合町	内方鉄五郎当高
57	○美作国高田	岡山県真庭郡勝山町	
58	◎石見国大森	島根県大田市	遠藤兵右衛門良致
59	○備後国上下	広島県甲奴郡上下町	
60	◎豊後国日田	大分県日田市	
61	○豊後国高松	大分県大分市	岡田九郎左衛門俊博
62	○豊前国四日市	大分県宇佐市	
63	○日向国富高	宮崎県日向市	
64	◎肥前国長崎	長崎県長崎市	高木作右衛門忠興



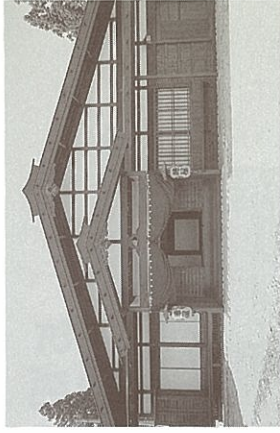
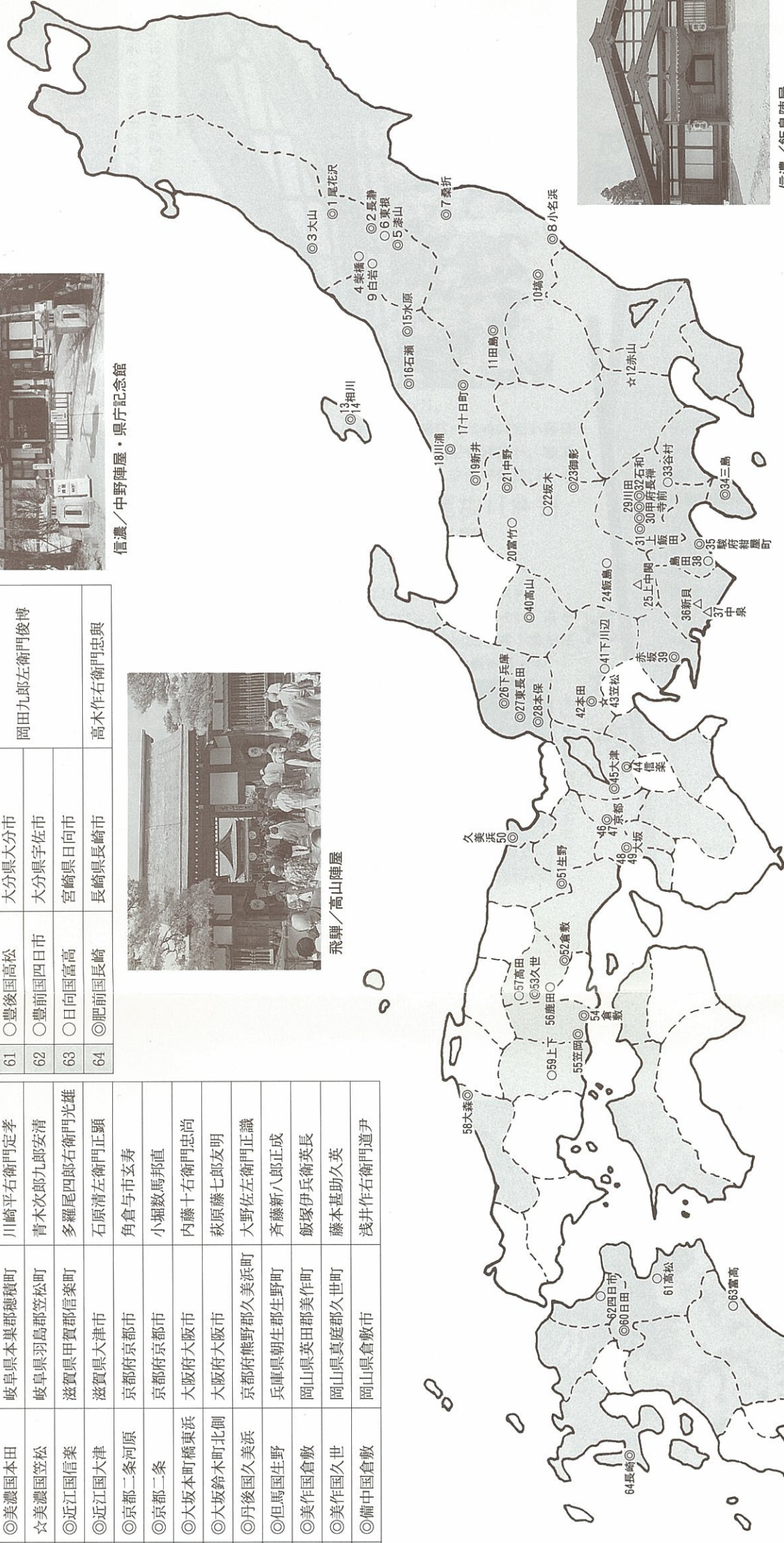
飛騨／高山陣屋



越後／水原陣屋



信濃／中野陣屋・県庁記念館



信濃／飯島陣屋

江戸幕府の直轄領は、およそ400万石が全国に散在している。マップには、幕府が直轄領を置いていた国を [] で示した。しかし、そこには必ずしも支配の拠点としての陣屋が置かれたとは限らず、直轄領の増減によって新設や統廃合が行われた。陣屋は特定の国に集中しており、江戸幕府の基盤が東国にあったことを示している。元文元年(1736)以降、全国に置かれた陣屋総数は、最大で64、最小で51であり、マップは最も多かった時を示している。

また、元文元年以降、のべ112の陣屋が存在していたが、このうち6割が在方町・一般村落に置かれていた。大名居城のように、現在その跡が県庁所在地や大都市となったり、現状が保存されているところは少ない。

全国の陣屋マップ

(宝暦7年=1757) 解説・表作成／西沢淳男